

## 大津保信町長の功績を振り返る



平成20年10月 職員に迎えられ初登庁

大津町長は、平成20年10月の町長就任以来、「熱意と誠意」を信条として、「中山町に住んでよかった。これからもずっと住み続けたい」と町民の皆さんに言っていただけるようなまちづくりを目指し、全身全霊をかけて公務に取り組みました。

ここでは、その功績を振り返ります。

### 安全安心な中山町を目指して

安全安心なまちづくりを進めるため、平成23年12月、山形市に消防事務を委託し、長年の悲願であった消防常備化が実現しました。

また、平成26年6月には、宮城県松島町と災害時相互応援協定を締結。これにより、いずれかの町において大規模な災害が発生した場合、食糧、生活必需品等の提供や被災者・避難者の受け入れなど、相互応援を行う体制が整いました。



平成22年4月 春季消防演習での観閲

### 町民目線で福祉・子育てを応援

福祉や子育て支援の分野では、ファミリー・サポート・センター事業やブックスタート事業の開始、中学校3年生までの医療費無料化など、町民目線できめ細やかな支援を実施しました。

### 教育・文化の充実に尽力

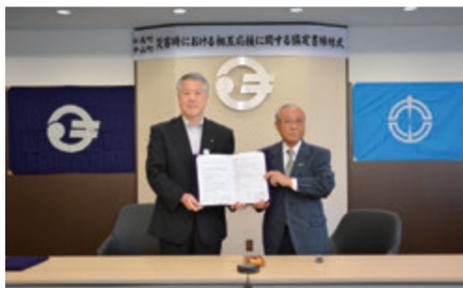
現在の中山中学校は、建築後44年余りが経過し、耐震性など、現在の安全基準を満たさない部分が現れはじめました。

大津町長は、これを解決し、生徒たちが優れた環境で安心して学習できるようにと、中山中学校の改築に取り組みました。建設工事は、平成26年7月に着工。平成27年12月には校舎が完成する予定です。

また、教育・文化の拠点として、町立図書館ほんわ館が平成24年4月にオープンしました。「いつでも誰でも気軽に利用できる、町民の居場所となる開かれた施設」をコンセプトに、「図書館では静かにしなければならない」という常識から離れ、児童図書コーナーでは親子で読み聞かせができるなど、子育て世代が過ごしやすい空間づくりにこだわりました。また、座敷コーナーもあり高齢者の集いの場にもなっています。



平成24年4月 町立図書館ほんわ館オープン



平成26年6月 松島町と災害時相互応援協定を締結

大津町長は、公務が重なりお疲れの時でも、心配させまいと周りを気遣う温厚実直で誠実な方でした。その人柄と、常に中山町のことを思う責任感の強さ、山形県職員や中山町副町長の経験を通じて身に付けられた豊富な行政知識により、多くの方から信頼され、慕われていました。

町政をはじめ、中山町の発展に一身をささげられたご功績をたたえ、心からご冥福をお祈りいたします。

## やすのぶ 大津保信町長 逝去



大津保信町長（67歳・柳沢）が、去る12月3日に逝去されました。

9月30日より山形市内の病院で入院治療を続けておりましたが、町政に復帰することは叶いませんでした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大津町長は、山形県庁を退職後、山形県林業公社専務理事を経て平成19年9月より中山町副町長を務められました。

その後、宇津井弘治前町長の病気辞職に伴い、平成20年10月に第8代中山町長として就任。

以来、「安全なまちづくり」、「未来への責任」を町政運営の二本柱として掲げ、消防常備化や中山中学校改築など、新たな事業に積極的に取り組まれました。その一方で、次世代に負担を残さないよう、健全財政を堅持し、堅実な町政運営に努められました。

二期目途中の今年9月に体調を崩し入院されてからも、町政に復帰すべく治療に専念しながら、最後まで町政を案じておられました。

地方自治法第152条第1項の規定により、新町長が決まるまでの間、町長職務代理者を置くことといたしました。職務代理者は、本町副町長 森谷喜代弘<sup>きよひろ</sup>となります。

この間、町長名での各証明書や通知書などは、町長職務代理者名で発行いたしますので、町民の皆様におかれましては、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。